

古賀総合病院 広報誌

フィオーレ

KOGETA

Vol. 16



Topics

理事長就任挨拶
登録医の紹介
院内ニュース

社会医療法人同心会 理事長 古賀 倫太郎
医療法人社団日高 アイレHDクリニック院長 日高 恵子先生
新任医師紹介
「入退院支援室」開設から1年
地域包括ケア病棟導入プロジェクト
NST 専門療法士実地修練の報告
新MRI装置のご紹介
古賀駅前クリニックからのご案内

理事長就任挨拶

理事長 古賀 倫太郎



この度、理事長に就任いたしました古賀倫太郎です。

平素より当会の診療・研修・教育活動に多大なるご理解とご支援を賜わり心より厚く感謝申し上げます。

当法人は、1946（昭和21）年に初代理事長が宮崎市本郷南方にて診療所を開設したのが始まりです。その後、宮崎駅前に古賀病院として発展し、1994（平成6）年に第2代理事長が池内町に古賀総合病院を新設移転、さらに事業を拡大し70余年間地域の皆様と共に歩んでまいりました。

その後、2011（平成23）年には宮崎県より「地域医療支援病院」の承認を、また、翌2012（平成24）年には、社会医療法人の認可を受け、地域医療やへき地医療支援に取り組みました。

現在、同心会は、池内地区に医療施設である「古賀総合病院」を中心に、介護老人保健施設「春草苑」、居宅介護支援事業所「古賀ケアプランセンター」、古賀訪問看護ステーション「あおぞら」を、また、宮崎駅周辺に「古賀駅前クリニック」と「健診センター」及び疾病予防運動施設「メディカルフィットネスフィオーレ」、「鍼灸院フィオーレ」、「フィオーレKOGA看護専門学校」を擁し、宮崎市および周辺地区における2次救急を含む急性期医療、慢性期医療、健診・人間ドック等の予防医学事業、在宅復帰支援事業と在宅医療・介護事業さらに看護師の育成といった幅広い事業を行っているほか、特に、古賀総合病院では臨床研修病院として初期研修医および専攻医の受入れ、地域周産期母子医療センターとして妊娠・出産・産後支援事業も行っています。

今後は少子高齢化社会の中で、地域の開業医の先生方との連携をより強化させると共にへき地医療機関との一層の連携強化を図り、地域の医療・介護・福祉に貢献するとともに、これまでの事業を継続、さらに発展させられるよう、特に人材の発掘・育成にも力を入れていきたいと思っております。

これからも“患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供する”を理念に社会医療法人としての使命を果たすべく努力をしてまいりたいと思っておりますので、皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

地域医療支援病院（登録医）紹介

医療法人社団 日高 アイレHDクリニック

〒880-0124

宮崎市新名爪 195

TEL 0985-72-8181 FAX 0985-72-8182

HP <http://airehd.com>

緊急連絡先 080-2751-3834



院長 日高 恵子

古賀総合病院の皆様方には日頃より大変お世話になっております。私は平成7年から約2年間勤務をさせていただきました。当時はまだ宮崎駅前から一部移転したばかりで真新しい病院に勤務することに緊張していた事を思い出します。宮崎県の腎疾患・透析医療の最先端でもあり長期透析の患者様も多く沢山のことを学ぶことができました。特に腎センター長の久永先生には当時から大変お世話になり、その経験が今現在の私に繋がっているものと大変感謝しております。

私は平成26年4月「アイレHDクリニック」を開院し、平成30年2月に「医療法人社団 日高」に組織変更をしました。開院時より副院長に循環器内科の鬼塚恭子先生を迎え、一般内科から腎臓内科、及びシャント手術やPTAを含めた人工透析内科の診療を行っています。平成29年4月からは東京女子医大より毎月2回診療応援医師を派遣していただき、腎移植待機中及び移植後の免疫抑制療法等の先進的医療を目指しています。

クリニックは、宮崎県産材をふんだんに使った木造二階建てです。子育て中のスタッフを多く採用し、女性の視点を生かした温かい雰囲気のコミュニケーションがとれる空間（アイレ）を作っています。「ここに来てよかった また来たい」と患者様に思っただけのような癒しのある医療機関をスタッフ一丸となって目指しています。

古賀総合病院は地域にとってなくてはならない存在であり、当院では最も頼りにしている病院です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



新任医師紹介



呼吸器内科 小室 彰男

呼吸器内科として働かせて頂くことになりました小室と申します。
沖縄で初期研修後、神奈川と東京で呼吸器について学び、この6月より宮崎へ参りました。宮崎では呼吸器内科医が少ないと聞きましたが呼吸器内科医として少しでも宮崎の医療へ貢献できるよう精進して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



産婦人科 河崎 良和

産婦人科の河崎良和と申します。「令和元年5月1日」という記念すべき日に着任させていただきました。鹿児島県出身です。平成4年に宮崎医大(当時)を卒業後、同大産婦人科に入局しました。以後、宮崎大学病院およびその関連病院に勤務してまいりました。前任地は串間市民病院でした。皆様のお力になれるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



精神科 森 悠平

宮崎大学医学部卒の森と申します。平成31年3月に大学での研修を終え、令和元年5月より古賀総合病院精神科でお世話になります。新天地で気持ちも新たに頑張りたいと思います。少しでも皆様のお力になれるよう、日々成長していければと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

「入退院支援室」開設から1年

入退院支援室 室長 原田 明美

当院は2018年4月に入退院支援室を設け、入院予約される患者様が早期に退院支援に係わる一歩に携わってきました。診療報酬で『入院時支援加算』が新設された中には「予約入院患者」として縛りがあります。昨年は看護師1名と事務1.5名で対応しており、予約入院患者様全てに介入することが出来ず、約752名(41%)の患者様に介入させていただきました。直接支援に繋がった患者様は11名(1%)に過ぎませんでした。しかしながら入院前に患者様に係わることは、不安の軽減にも繋がり「話を聞いてくれてありがとう」という言葉も聞かれました。直接経過が見えない支援室担当者にとっては、患者様の言葉そのものが、自分たちのモチベーションに繋がっていきます。また、情報収集することで病棟、外来、訪問看護等の連携、業務の効率化が図れ、病棟看護師の年間約250時間の負担軽減になりました。

今年4月からは、看護師1名、看護補助者1名、事務担当者2名体制となりました。今後は、入院前介入数を増やし支援が必要な患者のみならず入院予約患者さんへの関わりを深め、より他部署との連携を強化するとともに、業務改善を行い外来・病棟の業務負担軽減へ繋がる仕組みも構築していきたいと考えています。



地域包括ケア病棟導入プロジェクト

リーダー 木原 康 (副院長兼放射線科部長)

古賀総合病院は地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムの円滑な運用を行うために、『地域包括ケア病棟』開設を昨年より準備してまいりました。一般病棟である4階病棟を転換することとし、施設改修や人員配置などを整え、2019年8月1日開設の予定です。

地域包括ケア病棟は、急性期の治療を終了し、症状が改善した患者様・すぐに在宅や施設へ退院するには不安のある患者様に対し、在宅復帰に向けて医療管理・診察・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病棟で、在宅あるいは在宅とみなされる介護施設に復帰予定の方が対象となります。

現在、当院の平均在院日数は約12日と大変短くなってきており、十分なりハビリや療養指導を受ける時間がない中、不安を抱えて退院日を迎える患者様もおられます。在棟日数60日以内、在宅復帰率80%以上など、様々な条件はありますが、開設後は在宅復帰を目指す患者様へきめ細かなサポートができると考えています。対象となる患者様の例を挙げますと、

- ・急性期治療が終了し、病状が安定・軽快して『在宅復帰』へ向けた間の入院
- ・身体の状態変化に伴う『自宅環境が整うまで』の間の入院
- ・在宅復帰に向け『もう少しリハビリ』がしたい時
- ・慣れない医療行為やオムツ交換など『介護の練習』がしたい時
- ・在宅療養中に『介護者の休養』のための・時入院

などになります。

このように、急性期病院としてこれまでは受入が難しかった部分を、今後行えるようになります。ただし、開設後しばらくの間は、いったん一般病棟に入院していただき、適切な時期に地域包括ケア病棟へ転棟する形式を取らせていただきます。地域包括ケア病棟への直接入院はしばらくできないことをご了承下さい。患者受入の問い合わせについては、これまで通り地域医療連携室が担当いたします。

古賀総合病院は地域住民の皆様のご期待に応えられるよう地域包括ケアシステムに積極的に取り組み、役割を果たしてまいります。今後ともご指導、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

NST 専門療法士臨床実地修練の報告

NST 委員会

当院は日本静脈経腸栄養学会(JSPEN)の「栄養サポートチーム(NST)専門療法士」教育施設に認定されています。今年も6月3日(月)から7日(金)までの5日間、当院においては8回目のNST臨床実地修練を開催いたしました。

今回は院内外から看護師、薬剤師、管理栄養士の計12名が参加され、病態別の栄養管理についてなどの講義や実技を5日間みっちり行いました。

講師役は当院の診療部をはじめ各部署が担当し、充実した研修を行うことができ、参加者からも好評を得ることが出来ました。

ご協力本当にありがとうございました。

来年度の開催も同時期を予定しておりますので、NSTに興味のある方は参加されてみてはいかがでしょうか。



新 MRI 装置のご紹介

放射線科・放射線技術部

当院では2019年6月にPHILIPS社製の3テスラ（以下、3T）MRI装置（Ingenia Elition3.0T X）を新たに導入しました。

今回は、当院の3T MRI装置の特徴についてご紹介します。



以前よりも高画質な画像を提供することが可能になりました

以前、稼動していた1.5テスラ（1.5T）のMRI装置に比べ2倍の信号を得ることが出来るので画質が向上しており、さらにVega Gradientと呼ばれる新設計のグラディエントシステムにより、高分解能撮像が可能となります。さらに、ブラーリング（画像のぼけ）や信号ロスなど画質低下の原因を低減します。

検査時間が短くなりました

1.5Tに比べ3TのMRI装置は2倍の信号を取得できるため短時間で検査可能になります。また次世代の高速撮像技術Compressed SENSEが使用可能となり、従来手法よりも高速撮像が可能です。この手法は多くの撮像シーケンスに対応しており、撮像時間の短縮や画質改善が可能となります。検査時間が短くなるため、今後は予約検査数を増やして行く予定で、ご希望の日時に予約が取り易くなります。

快適な空間で検査を受けることができます

従来のMRI装置に比べて今回導入した装置の開口部は70cm（以前は60cm）とワイドな空間を有しており圧迫感を軽減するような作りになっております。寝台はPHILIPS社とドイツの寝具メーカーにより共同開発された、ComfortPlus Mattressを使用しています。また映像システム「In-Bore Solution」も備えており、検査中はヘッドホンを装着して音楽や映像を楽しみながらリラックスした状態で受けられるようになりました。これにより閉所が苦手な方や検査中、動かずに寝ることが苦痛な方でも、快適な空間で検査を受けることができ、さらに体動によるアチファクトの低減にも期待できます。

この他にも、当院の3T MRI装置では最新のアプリケーションが数多く搭載されており、様々な検査に対応できると考えています。

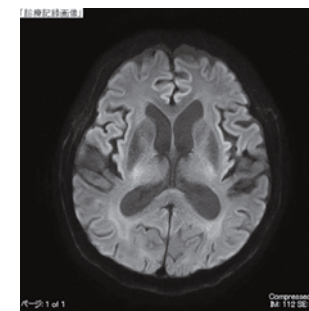
6月3日から稼動しておりますが、検査時間が長かったMRCPなどの腹部領域では広い空間でリラックスした体位で検査ができ、検査時間も以前より短くなりました。（以前は狭いガントリ内で手を挙上した状態で長時間検査をしていたため、患者さんには大変苦痛な思いをさせていました。）

頭部MRangiographyでは以前に比べ末梢の血管が描出され、血管病変の診断能の向上が期待されます。

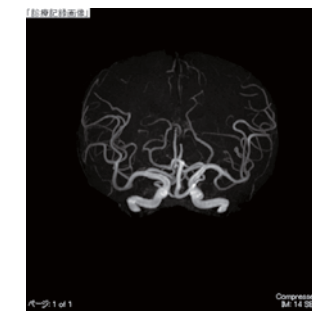
一方で、従来の1.5T MRI装置に比べ、非常に強力な磁力線と電波を利用するため、脳動脈瘤クリップ、冠動脈（心臓）ステント、血管内コイル、ステント、フィルタ、手術等での体内金属や体内異物には今まで以上に慎重な対応が必要になります。

MRI検査をご予約の際は、手術歴や体内金属等の有無を事前に確認していただき、体内金属等がある場合は、3T MRI装置対応であるかのご確認をお願いいたします。

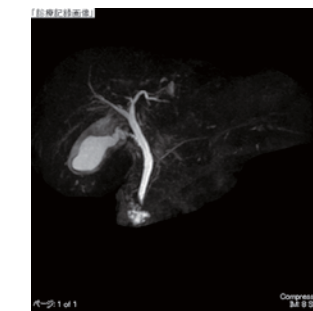
最後に、安全性には細心の注意を払いつつ、装置の性能を十分に活かせるよう努力していきたくと考えています。



頭部 拡散強調画像



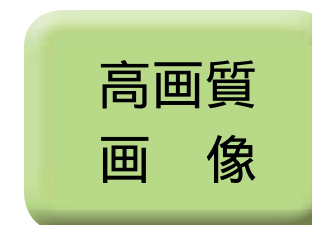
頭部 MRAngiography



腹部 MRCP



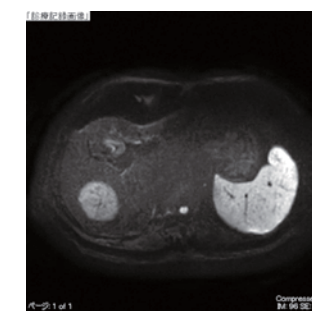
骨盤部



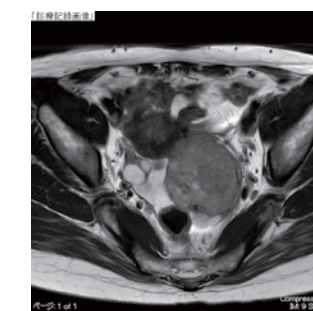
膝関節



腰部



腹部肝臓拡散強調画像



骨盤部

古賀駅前クリニックからのご案内

令和元年7月より、呼吸器内科、肝臓内科を増やした診療体制を開始しましたのご案内いたします。ご参考のため専門領域を表記しておりますが、内科全般の診療にあっております。

内 科	月		火		水		木		金		土
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM
内 科	齊藤 健太										
	松浦 良樹										
	榎木 誠一										第1・5
内 科	山口 秀樹										第2・3
	北條 浩										第4
循環器	坂元 貴道										
	増元 大祐										
消化器	加藤 雅俊										
呼吸器	小室 彰男										
肝 臓	落合 俊雅										

完全予約制

- ・お問い合わせ：古賀駅前クリニック 0985-22-2111（代表）
- ・ホームページをリニューアルしました：<http://www.koga-ekimae.com>

理念

「患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供します」

基本方針

1. 質の高いリスクマネジメントの構築
2. 設備・環境の改善
3. 職員の資質向上（人材育成）
4. チーム医療の推進
5. 相手の立場に立った目配り・気配り
6. 健全な経営管理

研修会等のご案内

< 今後の研修予定 >

2019年8月21日（水）19:00～21:00

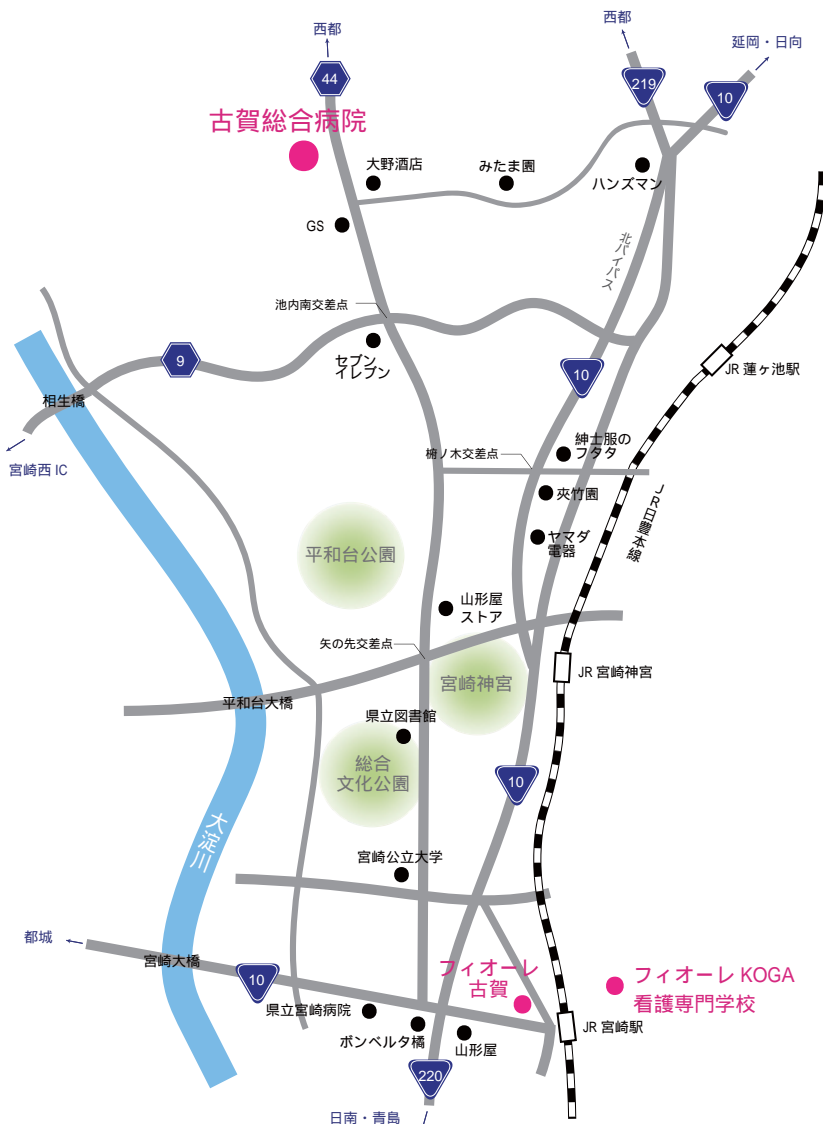
地域医療支援協力病院懇親会 ニューウェルシティ宮崎

- * 申込み・問い合わせ：地域医療連携室までご連絡ください（電話・FAX・メール いずれでも可）
- * 直通電話（0985-39-8952） 直通FAX（0985-39-0372） E-mail：kgh-renkei@kgh.or.jp
- * 地域医療連携室の受付時間 平日：8時30分～17時00分

< 地域医療連携室からのお知らせ >

◎泌尿器科の予約は、患者さんからの電話予約でも可能です。

関連施設



フィオーレ KOGA 看護専門学校

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東2丁目2-10

TEL 0985-38-8010 FAX 0985-38-8020

介護老人保健施設「春草苑」

〒880-0041 宮崎市池内町数太木1749-1

TEL 0985-39-8899 FAX 0985-39-8978

フィオーレ KOGA

〒880-0812 宮崎市高千穂通2-7-14

古賀駅前クリニック(1F)

TEL 0985-22-2111 FAX 0985-23-9598

古賀駅前クリニック健診センター(2F)

TEL 0985-22-2112 FAX 0985-32-0317

疾病予防のための有酸素運動施設(3F)

「メディカルフィットネスフィオーレ」

TEL 0985-22-2113 FAX 0985-22-2791

鍼灸院フィオーレ(1F)

TEL 0985-22-8950

古賀在宅ケアセンター

〒880-0041 宮崎市池内町数太木1763-3

古賀訪問看護ステーション「あおぞら」

TEL 0985-39-8127 FAX 0985-39-9160

居宅介護支援事業所「古賀ケアプランセンター」

TEL 0985-39-9150 FAX 0985-39-9160

発行元：古賀総合病院 広報室 2019年7月発行

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木1749-1

TEL 0985-39-8888 FAX 0985-39-0067

E-mail info@kgh.or.jp